

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	住関連専門店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者が出なければ、どの業種においても動きは出てくるので、景気の上昇は必ずくる。
	◎	通信会社（営業担当）	・5月14日の緊急事態宣言解除後、少しずつ来客数が回復してきている。6月より店舗が通常営業になるので、今よりは景気が良くなる。
	◎	観光名所（職員）	・県の緊急事態宣言も解除され、これから上向きになっていくとみている。当地の観光資源であるさくらんぼ等も見通しが立たず、舟下りも何日からという予定もないが、今現在がゼロである状況を考えれば、今後は若干は良くなっていく。
	◎	競艇場（職員）	・6月から再開するのが決まっているため、休館中で売上がない現在よりは売上は上がる。しかし、前年比では大幅減少となる。
	○	商店街（代表者）	・今月が最悪だとみている。
	○	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新たな日常ということのなかで、生活観が徐々に変わってきつつあることを実感している。教養を高めたり、趣味の領域を広げたりといった関連の商材が動き出しているので、その部分に対するクリエイティブな発想を提供すれば、もうしばらくはこのままの状況が続くのではないかとみている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・3～4月と最低だったので、6月からは少しは売上が上がってくとみている。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたので、感染に十分注意しながら客回りを開始するため、幾分状況が改善され商品が動くと思料している。
	○	百貨店（営業担当）	・人の動きは今月以降更に増えることが予想される。
	○	百貨店（経営者）	・全国で緊急事態宣言は解除され、消費マインドは少しずつ上がっていく。ただし、仕入先もダメージが残り、ここ数か月は店頭も変則的な売り方となるため、回復には時間が掛かるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・自粛は解除されたがほとんどの店で来客数が戻っていない。特にホテルの下や官公庁付近の店はいまだに壊滅的な売上である。100%に戻るまではかなりの時間を要するとみている。かなり経営が厳しい。
	○	コンビニ（エリア担当）	・外出自粛解除により来客数の回復が見込まれるが、各地で夏祭りが中止されるなど、今後も厳しい状況は続く。
	○	コンビニ（店長）	・補助金などによる財布の緩みや、新型コロナウイルスの終息という希望によっておのずと開放的になり、家族、会社関係の行動が活発になる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・締め付けと緩和を繰り返しながら、今よりは自粛も緩くなっていくとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・リピート客以外の来店が少しずつ増えてきているので、時間は掛かるが売上はゆっくり回復していくと予想している。
	○	衣料品専門店（店長）	・首都圏での感染が少なくなり、東北では新規の感染者が出ていないという状況で、感染防止の対応をしていけば大丈夫だという空気になりつつある。特別定額給付金の10万円の支給が本格的になれば、震災後のプチバブル的な需要喚起が起きるのではないかと希望的観測を持っている。そのような兆しがうかがえる客がいる。10万円の支給が景気の起爆剤になるのではないかと期待している。
	○	衣料品専門店（店長）	・首都圏以外の県で緊急事態宣言が解除されてからは、来客数が少しずつ回復傾向にある。通常に戻るには時間が掛かるものの、確実に上向きになってきている。
	○	衣料品専門店（店長）	・6月以降、クールビズ需要により、ビジネスラックス、ビジネスワイシャツが売れることを期待している。
	○	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息で、夏物商材が大幅に売れるという期待がある。また、給付金の使い道が猛暑ということで夏物に向けてくれればという期待からやや上向きになるとみているが、気温も含めてまだ何ともいえないところもある。
	○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・全国的な緊急事態宣言の解除を受けて、5月が底であってほしいという希望から良くなっているとみている。しかし、店内で感染防止策をとってはいるが、以前のような来客数に戻るには相当の時間が掛かるとみている。緊急事態宣言解除の影響で6月初旬に感染者が増えれば先の見通しは立たなくなる。新型コロナウイルスが終息するまではこのような状態が続くのではないかと。
○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・これまで自粛していたあらゆる業種も営業再開となり、需要も高まってくるとみられる。また、今までになかった新しい商材の動きも期待できる。	

○	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・緊急事態宣言中と比較すれば人の動きは増え、それに伴い燃料油の出荷は増えてくると想定される。経済活動が完全に戻るとは思えないが、今年よりは回復する。
○	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・営業自粛の解除とともに、少しずつではあるが来客数も伸びてくる。
○	一般レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの影響が収まれば、2～3か月先は少し良くなる。ただし、第2波、第3波がくれば店舗の維持は不可能になる。良くなることを願っている。
○	観光型ホテル (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で4～5月は休業しており、6月から営業再開するが、予約が入らず休業しなければならない日もある。夏休みの個人旅行は少しは動くが、秋口の団体旅行や冬場の忘年会等は動かないことが予想される。業界全体での取組が必要である。
○	観光型旅館 (スタッフ)	・政府の対策支援と県の宿泊施設支援プランで、何とか秋までは見通しをつけたい。
○	旅行代理店 (経営者)	・緊急事態宣言が全国で解除になった。新型コロナウイルス終息に向けての兆しが見えてきている。旅行業界では「Go To Travelキャンペーン」が成功することによって客が動き、良くなってくるとみている。
○	旅行代理店 (従業員)	・緊急事態宣言が解除され、2～3か月後は「Go To Travelキャンペーン」等により、ソーシャルディスタンスを守りながら、新たな経済活動が動き出している可能性が高い。
○	タクシー運転手	・ここ数日、徒歩移動の方々が少し多くなってきており、季節の気温上昇に伴いタクシー利用者が多くなってくることが考えられる。したがって、現在が底だと考えている。ただし、やや良くなると言っても、その上り勾配はかなり緩いラインを描くとみている。
○	通信会社 (営業担当)	・新型コロナウイルスも少しは収まり、商談ができるようになるかとみている。
○	テーマパーク (職員)	・現在は休業中で来客数、売上共にない。営業再開を想定するとやや良くなるとみられる。
○	観光名所 (職員)	・ようやく緊急事態宣言が解除されたので、経済が回ることを期待する。ただし、雇用問題が解消されない限りは急激な回復にはならないとみている。
□	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・現在の最悪の状態が当分続く。
□	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・新型コロナウイルス関係の売上は良い状態が続く。ただし、落ち着いてくれば現在のような前年比30～40%増といったことにはならず、少し減少すると予想している。
□	百貨店 (買付担当)	・前月同様新型コロナウイルス次第である。休業終了後も衣料品中心に苦戦は続いており、買物を楽しむ雰囲気にはなっていないことは客からも伝わる。この状況はもうしばらく続くと考える。
□	スーパー (店長)	・緊急事態宣言が解除になった途端、来客数の減少が目立ってきている。特に年配客の減少が顕著である。元に戻ったか、それ以下になったようである。
□	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で今月と変わらず景気の悪い状態が続くのではないかとみている。人の流れに少し動きが出てきたので、そういった面で希望が持たなくはないが、先は読めない。
□	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
□	コンビニ (エリア担当)	・緊急事態宣言解除後、徐々に来客数が戻ってきているようではあるものの、3か月後の動きは現時点では判断できない。
□	コンビニ (エリア担当)	・新しい生活様式の定着化は、経済には非常にマイナス効果で消費の冷え込みが継続されるとみている。リモートワークの普及はオフィス街の昼食需要、夜間の飲食にも非常に影響しており、新型コロナウイルスの終息がない限り、この状態は続くと予測される。
□	コンビニ (エリア担当)	・4月が景気の底で、今後自粛が解除されれば様々な業態で若干の回復はみられるとみているが、状況は余り変わらないと予想している。
□	乗用車販売店 (従業員)	・ボーナスが出ないという客が増えてきたので、今後も景気は余り良くなりないとみている。
□	乗用車販売店 (従業員)	・新車の入荷は工場の休止や時短もありしばらくは納期が掛かるため、売上が先延ばしになりすぐにはばん回できる見通しは立たない。中古の相場もやや落ちているため、年内で併せて見込んだ収益まで戻るかどうかが分からない。

□	自動車備品販売店（経営者）	・全国的に移動制限が解除になっても、Web会議など移動を伴わない手法が常態化し、人を集めての会議は減ることが予想されるため、空、陸の移動やホテルへの宿泊など、会議に伴い発生する売上は元には戻らないとみている。売上減による修理費用の抑圧が働くとみている。
□	住関連専門店（経営者）	・現在、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除されたが、営業活動はほとんどできていない。この先どうなるか分からないこともあり、受注活動に支障が出ているので、現在とさほど変わらない状況が続くとみている。
□	その他専門店〔靴〕（従業員）	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルス発生前の生活に戻るのには大分時間が掛かるとみている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、販売量が減少している現在の傾向が続くとみられる。
□	高級レストラン（支配人）	・予約自体は来月、再来月とまだ入っていない状況である。宴会場の動きは6月後半からは徐々には会食が入っているが、レストランに下りてくることは考えられない。
□	観光型旅館（経営者）	・状況次第ではあるが客も移動に慎重のようである。先行きの不安から、しばらくの間は平常時の消費行動に戻るのには難しいとみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は続くとみている。
□	美容室（経営者）	・売上はもう少し戻るとは思うものの、新型コロナウイルスの状況がどのように変わってくるのかは先行き不透明な部分が多い。そういったことを考えると安穩とした気分にはなれない。
□	美容室（経営者）	・固定客だけで新規客は来ないので、これまでと変わらない。
□	設計事務所（経営者）	・悪いところで現状維持が予想される。踏みとどまってほしい。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス騒ぎで4月は最悪の状態であったが、今月も同じような状態で、客がほとんど増えていない。特に市内の中心部には人が来ない状態で、周辺部に消費が流れているようである。しばらくこの状態が続くとみている。
▲	百貨店（売場主任）	・収入が減少したり失業したりする人の増加が見込まれ、百貨店に対する需要が更に落ち込むものと推測する。またアパレル産業を中心に、退店や廃業等により百貨店の売場が維持できなくなるのではといった不安材料も挙げられる。
▲	スーパー（経営者）	・近隣の工場などに新型コロナウイルスに関して聞くに厳しい状況にあり、建設業も新型コロナウイルスで資金を使えば公共事業も減るのではないかとの見方もあるようである。小売業は周りの景気に左右されやすく見通しは厳しい。
▲	スーパー（店長）	・好調であったグロサリーと日配の売上が低下中である。マスクを含む家庭用品の売上がそれを若干カバーしているが補い切れていない様子で、少しずつ売上が低下している状況である。
▲	スーパー（企画担当）	・ここ2～3か月は内食需要で売上は良かったが、2～3か月後は自粛解除になるので、食品小売業に関しては少し下がり気味になることが予想される。
▲	スーパー（営業担当）	・自粛要請の解除から、外出、外食の需要が増加していくこと。また、収入の減少により、食費への支出が減少していく予測から、売上の減少には厳しくなるのではないかとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが客足の戻りは鈍く、まだまだ警戒感が抜けない。他県との往来が少ない現状では回復がなかなか難しい。
▲	コンビニ（経営者）	・なじみ客と話しても、収入が減っていて、来店回数や購入金額を減らしているとの話が多い。しばらくは厳しい経営になりそうである。
▲	コンビニ（店長）	・これから業績を改善するいろいろな手立てを打つ会社が増えてきて、じわじわと消費に響いてくるとみているが、残念ながらすぐにはない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・自粛解除になったとしても各種イベントや祭りが中止になり人出がなく、来客数も少なく、県外からの観光客も皆無の状態になると心配している。また、お中元商戦も個人、法人共に減少するとみている。
▲	衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されても、感染リスクがあるため、以前のような購買行動にはなかなか戻らない。

▲	家電量販店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の前半は新型コロナウイルスの問題で需要が下がると予想していたが、10万円の給付があって高額な家電がよく売れた。特にエアコンなどはこの夏の需要を先取りして買っている。この需要はもうしばらくは続くともみているが、2～3か月後の需要を先取りしているだけなので、長期的には景気はやや厳しくなっていくと予想している。現在は10万円の給付金で買物をする客がかなり多くなっている。
▲	乗用車販売店（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・既存客のサービス入庫はさほど影響はないだろうが、メーカーの工場休止の影響もあり新車は長納期になりつつある。また、中古車市場は、輸出が低迷していることもありオークションも停滞中で、価格が下落している。
▲	通信会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・自粛は解除されたものの、生活様式が変わり、質素になる傾向がみられる。テレビサービスもインターネットで見る時代になり、映像配信系の会社との競争がますます激しくなることが予想される。
▲	遊園地（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくれば、イベントなども実施し少しずつ底を脱していく期待はあるが、楽観はできない。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・既に8～9月の行事やイベントの中止が発表されており、この先6か月以上、持ち直しの動きはないと予想している。
▲	住宅販売会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸管理不動産の解約が増え、新築受注以外の売上も下がっている。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により問合せが減っている。営業の自粛を継続している。
×	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・例年であれば初夏物、夏物が売れ始めていく時期だが、ここ2か月の流れをみると、そのような期待は全くできず、この景気の悪い状態がいつまで続いていくのか不安と恐怖におののいている。
×	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・当商店街の最大のイベントである祭りも中止決定となり、集客力を強化できない状況が夏場まで続く見込みであることから、景気回復は望めない。
×	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍で不安感が拭えない。第2波も心配である。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ目の前の先行きが見通せないなかで、数か月先の見通しなどを考慮する余裕などない。客とも緊急雇用安定助成金等の申請の話が出るが、なかなか申請が難しく、スムーズに申請をしているところの方が少ないのが現状である。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・当店の主要な客層は年金生活者であるため、新型コロナウイルス禍の中でも生活が大変という声は余り聞かなかった。しかし、ここに来て、現役世代の客からかなりの高頻度で仕事上の行き詰まりを耳にするようになっていく。度合いがより深刻な人は当店にも足を運ばないであろうし、この状態が続くようだと大変な景気悪化が待ち受けていることが予想される。
×	スーパー（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月も政府、自治体の特別定額給付金効果や各種補助制度等による経済浮揚対策効果は続くともみている。しかし、今後は所得、収入が減少する方々が更に増えていくことを危惧している。周囲の多くの企業が事業活動を本格的にできていない状況なので、消費は確実に低迷してくるものとみている。
×	スーパー（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍はまだまだ継続しており、地元でも失業者が増えだしている。さらには、可処分所得が伸びないなかで支出が増大している。競業に関していえばデフレが進んでいる。
×	スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響による小売業スーパーの特需も間もなく終了し、その後は節約、儉約傾向が顕著に現れた消費動向になると予測している。
×	スーパー（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス関連で収入が減ることにより、消費の減少が生まれる。特に価格に敏感になり、買上点数も減少の傾向になる可能性は高い。今後ますます収入減の影響が大きくなる。現在も生鮮の売上は良いがGroサリーの売上は慎重になっているため、来客数の減少が大きな影響を与えている。
×	コンビニ（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が解除され、平日の来客数は5割くらい戻ってきたものの、土日は戻る気配がないので、余り変わらないとみている。
×	コンビニ（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で悪くなると予想している。
×	乗用車販売店（本部）	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言は解除されたが、客からの不安の声の方が圧倒的に大きい。車は必要だが不急の商品のため、購買意欲回復にはまだしばらく掛かりそうである。
×	住関連専門店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は良くならない。

	×	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、特に地方の飲食、観光、宿泊関連は壊滅状態になっており、これが元に戻ることはない とみている。さらに、この影響が全ての業種に及ぶことが予 想される。どの程度悪くなるのかは正直想像できない。状況 が悪くても先が読めれば具体的な対応に尽力するが、全く予 想が付かず、周りも手探り状態で非常に苦しんでいる。
	×	高級レストラン(経営 者)	・一旦キャンセルとなった大人数の会議が2~3か月先に 戻ってくるとは思えない。戻ってくるとすれば秋以降であ る。今よりも資金が枯渇することを考えると、2~3か月後 は一番厳しくなるのではないかとみている。
	×	高級レストラン(ス タッフ)	・新型コロナウイルスに対する世間のおそれは消えないた め、ずっと良くはならない。製造業、観光業、ホテル旅館、 飲食業、小売業等は、以前のような景気に戻るのには、最低 2年は掛かるであろうとみる。来客型、集客型ビジネスは新 しいカタチを作らなければならない。
	×	一般レストラン(経営 者)	・当店では6月から平常営業に戻そうと考えているが、従来 の客が以前と同じような状況に戻るまではかなり時間が掛か るとみている。
	×	一般レストラン(経営 者)	・新型コロナウイルスのワクチンが開発されない限り、以前 のようにはならない。現在のような状況が続く限り、景気が 良くなることは考えられない。
	×	一般レストラン(経営 者)	・たとえ新型コロナウイルスの薬が世の中に回っても、 失った時間と金は戻らない。多少は経済に動きは出るだろ うが、家庭レベルでは財布のひもは固いままである。家庭レ ベルの経済が回復してこないとな世の中の経済は活性化でき ない。
	×	タクシー運転手	・まだ先がみえない。新型コロナウイルスが終息しても、す ぐには回復しない。
	×	タクシー運転手	・街中において一般客の動きがなく、閉店する店舗もかなり 増えてきている。もっとひどい状態が先に待っているよう な気がしている。これまでの人生でこのようなことは初めて であり、見定めることができない。
	×	通信会社(営業担当)	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスに対 する警戒心があるため新しい生活様式が必要であるが、浸透 するまで時間を要する。新型コロナウイルスの第2波、第3波 への対策がない限り、まだまだ景気回復は厳しい。
	×	通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの鎮静化の見通しが立たない状況であ る。政府も各種支援金等でばく大な費用を費やしている。今 後、今までにない景気の悪化が予想される。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	出版・印刷・同関連産 業(経理担当)	・緊急事態宣言が全国的に解除されたが、各業種とも回復に は数か月掛かるとみられることから、印刷物の需要は戻りが 小さいとみている。しかし、少しずつ良くなっていくのでは ないかと予想している。
	○	建設業(従業員)	・民間の設備投資は先がみえないものの、公共工事はコンス タントな出件が見込まれるため、一定の受注量確保は可能と 推測される。
	○	通信業(営業担当)	・テレワーク及びWeb授業用にモバイル端末やネットワー ク環境構築の要望が増えている。
	○	広告代理店(経営者)	・緊急事態宣言解除により、少しずつ経済は回復していき だろが、以前の状態には戻らないとみている。仕事の内容や 受注の方法を変えていかないと生き残れない。
	○	経営コンサルタント	・緊急事態宣言が解除され、多少なりとも経済活動が上向き になることを期待している。第2波が来たらアウトだが、上 手く乗り切れば、下半期には回復する業種も期待できる。
	○	司法書士	・不動産売買の件数は微増で推移している。
	○	その他非製造業〔飲 料品卸売業〕(経営 者)	・緊急事態宣言の全国的な解除によって現状から幾分の回復 が見込まれる。一方で、新型コロナウイルス発生前の状態 まで回復するには予防や治療法の確立も要件と考えられ、 時間が掛かることが予想される。
	□	食料品製造業(経営 者)	・他県からの観光客、出張者次第である。
	□	出版・印刷・同関連産 業(経営者)	・当分は現状のように前年比20%減の状態が続き、元には戻 らない。新しい仕事を作らないといけない。
	□	電気機械器具製造業 (営業担当)	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの ショックが依然長引いていくと考えている。また、現在の状 況から景気回復に向けて活動しても、回復に数年は必要と考 えている。

	□	金融業（広報担当）	・大型イベントが相次ぎ中止となり、観光関連業界のダメージが大きい。地場老舗ホテルが破産する等インパクトある事象も発生しており、関連事業者への影響拡大が懸念される。雇用動向も上振れが期待できないなか、消費マインドも当面は保守的に推移するものと予想している。
	□	広告業協会（役員）	・4～5月が底で、徐々に回復することを期待したいが、夏の大型催事も全て中止となり、何を起爆剤にするのか難しい状況である。第2波も気になるところだが、秋以降のイベントが通常どおり開催できることが復活のシナリオになる。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・緊急事態宣言解除とはいえ、客の新型コロナウイルスへの警戒感が強く、また社会的な目を気にして普及宣伝活動や企業広報を控える状況が続くと考えられる。
	▲	食料品製造業（経営者）	・5月後半から6月に掛けて店舗の営業時間も通常に戻るところが多いが、人出はまだ少ない。県外からの客が来るまでにはまだまだ時間が掛かりそうで、土産が売れ始めるのはまだまだ先である。あと何か月我慢すればいいのか分からない。
	▲	電気機械器具製造業（企画担当）	・会社業績悪化により、残業規制、出張規制、インセンティブプラン凍結など、景気としてはダウンする見通しである。
	▲	通信業（営業担当）	・環境が改善するときに備え、通信手段を用いたできる限りのきめ細かな営業を行うしかない。
	▲	金融業（営業担当）	・良くなる兆し、材料が見られない。
	▲	その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注案件のパイが減少傾向にあり、同業他社との競争激化、特に単価においてが今後も続くものと予想される。
	×	農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ果物の生育は順調だが、新型コロナウイルス感染症で不況感があり、これからの果物の売行きに影響するのではないかと心配である。
	×	農林水産業（従業者）	・6月に収穫を迎えるさくらんぼの価格が、消費自粛や、観光客減による観光果樹園の出荷増により、例年に比べ大幅に下落すると予想される。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は収束しつつあるが、景気回復の見通しは全くみえない。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響により、観光業や飲食等の中小企業で地域経済に大きな被害が出ている。緊急事態宣言解除後の経済対策に期待するが、景気回復は長期化するものとみている。
	×	金属製品製造業（経営者）	・極端に受注状況が悪化したため、今が底だと思いたいだが、更に減産をする、若しくは稼働を停止するといった情報が次々入るため、更なる悪化が避けられないとみている。
	×	建設業（企画担当）	・客先の設備投資計画の延期や中止は、受注予定の減少につながり、受注の減少は競争の激化、さらには売上の低下に直結する。また、関連する専門工事業者にもその影響が及ぶと推察される。
	×	輸送業（経営者）	・令和2年になってからは月を追うごとに景気は悪化している。売上が毎月数%ずつ減少している。もちろん前年比較でも同様である。主要製造業取引先からは少なくとも上期中は減産をせざるを得ないと言われている。
	×	公認会計士	・小売、飲食店等が自粛解除になったとしても、客足は以前のように戻らず、業績回復はすぐには難しい。また、ゼネコンが現場作業所での作業中止を行っていた影響がこれから出てくると考えられるので、建設関係も今月よりは悪化することが予想される。そういったことから、全体としては景気が悪化する。
	×	コピーサービス業（従業員）	・政府の経済政策の遅れが気になる。体力のない企業は倒産に追い込まれ、先行きが不安である。当社の客は中小企業及び零細企業が多く、どれだけの企業が持ちこたえられるか見通しが立たない。既に飲食業では何か所かから閉店の連絡が届いている。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスで大変な状況も、この先6～8月で緩和されて外食などはやや良くなるとみている。しかしながら、単籠りで金銭的にも詰めてやってきたということがあるので、すぐに戻ることは考えられない。メーカーで品薄になっていた商品がやや入り始めるだろうが、商売が良くなるということは考えられない。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスが落ち着き、新しい生活スタイルに慣れてくれば変わっていくとみている。
	○	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言解除に伴う緩和による好転を期待したい。感染拡大第2波がもしあったとしても、今回のような手探りで進める政策ではなく、経験に即した対策が講じられるものと期待している。

□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に各企業も営業活動を始めている。新卒の採用復活はしないものの、セミナー、研修の依頼が増えてきているので、やや悪い状況は変わらないが、悪化することはないとみている。
□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されたことで採用活動に動ける状態になったため、一部の投資ができる資金力を有する企業の動きが復調してきている。一方で募集企業の本業での受注減に伴う業績の悪化はすぐには取まらないことが想定されている。そういった背景から、求人数自体は減少が想定されるため、やや減少の状態が続くとみている。
□	アウトソーシング企業（社員）	・しばらくは現在のような会議が少ない状況が続くのではないかと。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言の解除を受け、少しずつだが経済活動が再開されているものの、そのまま良い求人や求職活動につながる気配は全くない。依然として厳しい状態が続くとみている。その中であって、通販等の新しい対応に力を入れ始めている企業も増えている。それがうまくいくかどうかは活性化の兆しになるかどうかのポイントになるとみている。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・営業再開した飲食店も早めに店仕舞いするなど、客足回復は予想どおり難航している。このままでは緊急経済対策が打ち出されても50%ほどの店舗がとう汰されるのではないかと。消費の機運が高まるきっかけがみえない限り、低空飛行は続くともみている。
□	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルスの影響による自粛ムードはいまだ続いており、景気の低迷は長引くとみられる。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長引く恐れがある。新しい生活様式は消費に大きな影響を与え、経済がやや縮小するとみている。
▲	職業安定所（職員）	・外出自粛の影響があるのかは分からないが、新規求職者数は思ったほど増えていない。
×	人材派遣会社（社員）	・例年第1四半期は、年度末需要の一服感から受注量は落ち着く時期である。しかし、今年の受注状況は前年比8割減の2割程度の受注と激減している。中央本社の某人材派遣会社も当地からの撤退を決めた。夏場も厳しい状況が続くことが予想される。
×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響はこの後更に続くものと考えている。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだ続くともみている。
×	職業安定所（職員）	・従業員の休業の動きが多業種に広がっている。また、新型コロナウイルスの影響を理由とする廃業も増加している。